



布施だより

《 北信陸上・鈴鹿・市中大会へ 》

～ 若さがはじけるとき ～

6月7日(土・)の北信陸上大会からスタートした中学校体育大会に向けて、最後の調整の日々が続いています。蒸し暑さが増してきた今週、グラウンドやコートから、体育館や泉心館から、気迫のこもった動きと声が伝わってきています。

3年生諸君を中心にチームワークを高め、勝負のときに挑もうとしている決意と、それを支えようとする仲間の声を紹介します。

- 3年間、一緒にやってきた仲間感謝して、プレーできることに感謝して、最強のプレーをして、全国大会に行く！！
- 最後の大会には体調が万全ではないけれど、今まで一緒に練習してきた仲間を精一杯応援したいと思います。
- 市中大会では、強い中学校とも当たるけど、名前負けせずに挑戦して勝って、優勝カップを持ってくる。
- 最後の大会なので、悔いの残らない大会にしたい。いつも毎日、プレーできることに感謝して大会に臨みたい。そして最後の挑戦、頑張りたい。
- 今までやってきた事を無駄にしないように、最後の最後まであきらめずにやりたい。勝ちよりもその前に悔いの残らないように一生懸命やりたい。
- 今まで、頑張ってきたこと、辛かったこと、いろいろあると思うけど、最後に部活動をやっていて良かったと思えるように全力で頑張る！！

4日(水)には壮行会が開かれ、吹奏楽部諸君の演奏<トウ
ルース>をバックに照れながらも、緊張した表情での入場からスタートしました。ステージには「Hoda エコ マイレッジ
チャレンジ 2014 鈴鹿大会」に参加する、ユニフォームに身を包んだ技術部諸君の勇姿も並びました。

各部の決意発表のあと学校長からの壮行の言葉です。
皆さん、素晴らしい決意発表をしてくれました。まず、皆さ



んが、このステージに、こうして立っていることを誇りにしてください。今まで、それぞれに、苦しい時や辛いときがあったと思います。それを乗り越えてきたからこそ、今があります。今までを振り返ってみると、本当に多くの方々の支えがあったことに気づかされます。その方々への感謝の気持ちをしっかりと心に刻んでください。

大会まで、まだ日のある部活もあります。まだまだやれることがたくさんあります。一日、一日、集中力を高め、大会を迎えて下さい。

大会では、最後は自分自身との戦いになります。自分の「気持ち」との戦いです。大会では、どんな状況におかれても、決して心の中で「もうだめだ。」とつぶやかないこと。心の中で「もうだめだ」とつぶやけば、身体はそれだけの動きしかなくなります。「絶対に負けない」と念ずれば、身体は心のおりに動いてくれます。

皆さんの健闘を祈っています。

大会を通して、驚くほど生徒たちは成長を遂げます。技能は勿論、人間的にも幅を広げていきます。それまでの殻を破り、成長の時を待っていたかのようです。大会を終えて、学校へ戻ってきた生徒たちの晴れ晴れとした姿を待ち焦がれています。



《 陸上競技部諸君の大活躍 ～北信陸上大会～ 》

〈陸上競技部〉 北信陸上大会 於：市営陸上競技場 6/7
県大会出場生徒の紹介

- ・下田振全くん (3年) 100m 5位 ・長原治玄くん (3年) 1500m 6位
- ・南澤海斗くん (3年) 400m 4位 ・土屋優輝くん (2年) 100m 7位
- ・酒井彩花くん (3年) 4種競技 5位 ・田中ひかるさん (1年) 走幅跳 5位
- ・内堀岳宏くん、下田振全くん、伊藤嵩矢くん、土屋優輝くん 男子4×100リレー 5位

～ ～ ～ ～ ～
詩をひとつ・・・

六 月 茨木のり子

どこかに美しい村はないか / 一日の仕事の終わりには一杯の黒ビール
鋤を立てかけ 籠をおき / 男も女も大きなジョッキをかたおける
どこかに美しい街はないか / 食べられる実をつけた街路樹が
どこまでも続き すみれいろした夕暮れは / 若者のやさしいさざめきで満ち満ちる
どこかに美しい人と人の力はないか / 同じ時代をともに生きる
したしさとおかしさとそうして怒りが / 鋭い力となって たちあられる



万緑の季節がやってきました。